

The background of the slide is a reproduction of Leonardo da Vinci's 'The Last Supper'. It depicts Jesus and his twelve apostles seated at a long table in a room with a coffered ceiling and arched windows. The scene is captured in a dramatic, low-key lighting, with the figures' faces and hands highlighted against a dark background. The text is overlaid on the central part of the painting.

# 西洋美術史ゼミ

第11回

バロック美術・ロココ美術

発表者 あまずん

# 発表者について

あまずん

Twitter : @quii\_w (メイン)

@amazuunsc (サブ)

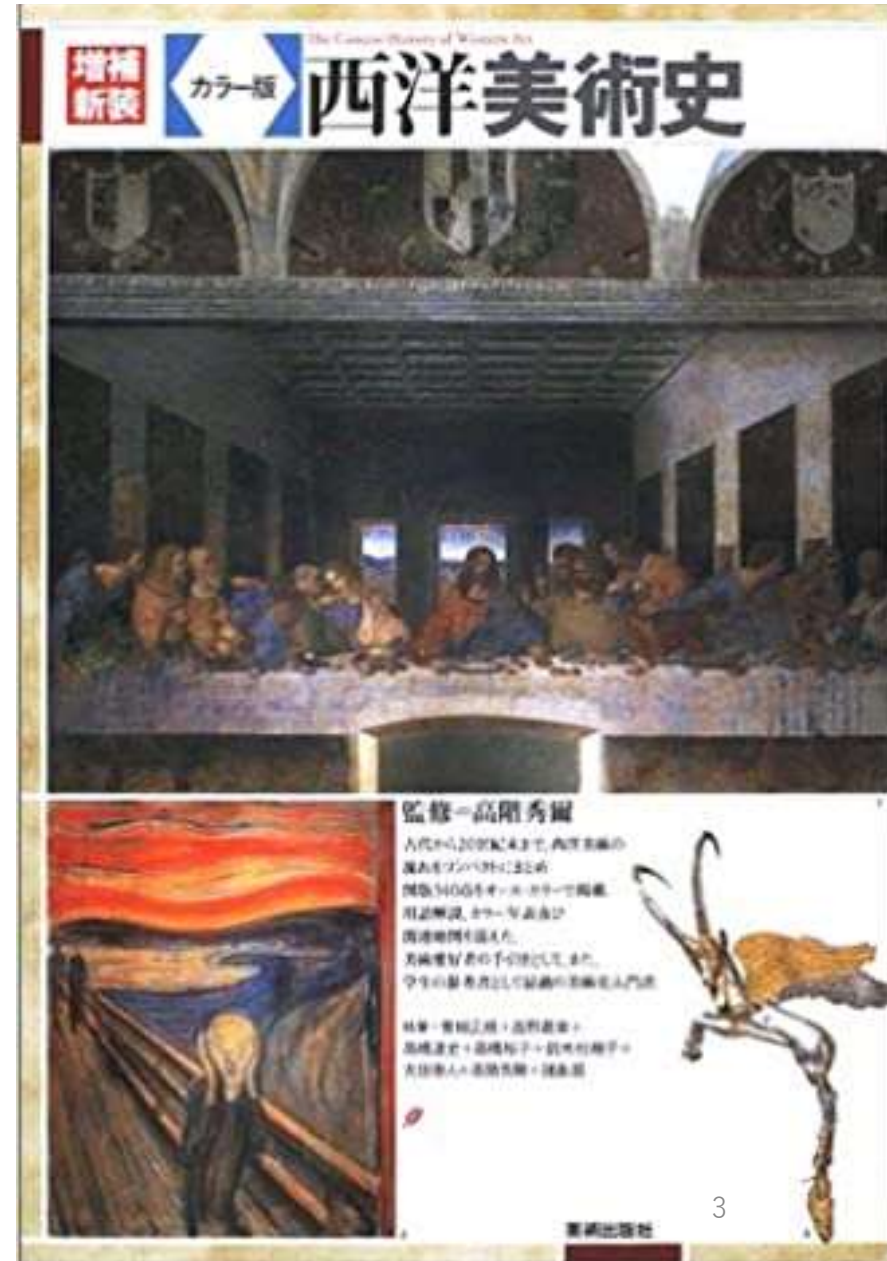
理系の大学生 (数学専攻) をやっています。

近代以降の美術史や思想史、現代美術について  
興味があります。



## ゼミについて

- 週1回程度で美術出版社「増補新装 カラー版 西洋美術史」を一章ずつ読み進め、内容をまとめ発表します。
- また、高校世界史に沿う形で当時の出来事についても説明します。
- そのため、世界史と美術史を同時に学ぶことができるため、歴史が好きな方も美術が好きな方も学びを深めることができます。



## 前回の内容

- 宗教的な普遍的権力が動揺し、経済的・軍事的な重要性から**主権国家が形成**され始めた。
- そのような状況下で新教と旧教の対立による**三十年戦争**が始まり、次第に大規模な戦争に発展していった。
- **カラヴァッジョ**の登場により、劇的で動的な**バロック美術**の扉が開いた。



カラヴァッジョ 《聖マタイの召命》

# 本日の内容

世界史について

- 近世ヨーロッパ世界の展開（事前）
- ヨーロッパ諸国の海外進出（事前）

美術について

- バロック美術
- ロココ美術

# 発表の前に

- 今回は世界史と美術史で資料が分かれています！世界史については軽くだけ扱うので、詳しく知りたい方はDiscordサーバーに置いた資料（ドクセルの方はサムネに「事前」と書いてあるもの）を参照してください。

# 全体の概略

- 三十年戦争が終わりヨーロッパの近代化が進む中、カトリック改革を背景に美術はルネサンスの理想主義的なものから**世俗的、現実的**なものへと変化していきました。
- 宮廷画家は依然存在しましたが、画風はカラヴァッジョの影響を多分に受けたものへと変化していき、またオランダでは市民の影響力も強まって風俗画をはじめとする世俗的な絵画が生み出されました。そして、その流れを受けた18世紀フランスでは、バロックとは対照的で華やかな**ロココ美術**が誕生しました。
- 今回は詰め込み気味ですが、流れをなんとなく掴んでもらえれば大丈夫です。

# 本日の内容

- 美術史：バロック美術（続）
- 美術史：ロココ美術



# イタリアのバロック美術（再）

• 前回は②まで扱った。今回は③から始める。

① カトリック改革（対抗宗教改革）

② カラヴァッジョ

③ カラッチとボローニャ派

④ 盛期バロックと天井画

⑤ ベルニーニとボロニーニ（建築）

# カラッチとボローニャ派(1)

- 16世紀のイタリアにおいて、カラヴァッジョと双璧をなす画家として**アンニバーレ・カラッチ**がいる。
- 彼は盛期ルネサンスの**古典主義と写実性を融合させた絵画**を描き、その折衷性から一般に受容されやすいものであった。



カラッチ 《自画像》

## カラッチとボローニャ派(2)

- カラッチは特に**パラッツォ・ファルナーゼのガレリア天井画**で有名であり、その古典研究の成果から「**ラファエロの再来**」とまで称えられた。
- また、彼は風俗画でも傑作を残しており、『**肉屋**』や『**豆を食べる男**』などの作品がある。



カラッチ

『バッカスとアリアドネの勝利』  
(ファルナーゼ宮殿天井画)

# カラッチとボローニャ派(4)



カラッチ 《豆を食べる男》

## カラッチとボローニャ派(3)

- カラッチに学んだ画家たちは**ボローニャ派**と呼ばれ、17世紀前半のローマ画壇を席卷した。
- その中でも**ガイド・レーニ**と**ドメニキーノ**が名高く、古典主義的な画風を流行させアカデミズムの範となった。



ドメニキーノ 《処女と一角獣》

# カラッチとボローニャ派(4)



レーニ 《アウロラ》

# カラッチとボローニャ派(4)

- また、ドメニキーノのライバルであった**ジョヴァンニ・ランフランコ**は、盛期ルネサンスの画家**コレッジョ**の**錯視的な効果**（**イリュージョニズム**）をローマに移植し、**サンタンドレア・デラ・ヴァッレ聖堂の天井画**において、ドメニキーノの古典主義と対照的な**バロック的な画風**を展開した。



By Livioandronico2013 - Own work, CC BY-SA 4.0,  
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=40409917>

ランフランコ

《サンタンドレア・デラ・ヴァッレ聖堂の天井画》

# 盛期バロックと天井画

- ローマで始まったバロックは、サン・ピエトロ大聖堂や一族の宮殿を華やかに装飾された**ウルバヌス8世**（在位1623～44）の治世下で**盛期バロック**として完成した。
- ランフランコによって導入された**イリュージョニズム**は広く流行し、**コルトーナ『神の摂理とバルベリーニ家の栄光』**や**バチッチャ『イエスの御名の勝利』**などの傑作が生み出された。



By Giovanni Battista Gaulli. Photo: LivioAndronico, CC BY-SA 4.0, <https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=40604979>

バチッチャ 《イエスの御名の勝利》



# ベルニーニとボロミーニ(1)

- 盛期バロックの建築では**ベルニーニ**と、その弟子でありライバルでもある**ボロミーニ**が有名である。
- 彼らはどちらもこの時代を代表する建築家ではあるが、その個性は対照的なもので、ベルニーニは**絵画、彫刻、建築が連動する豪華な空間**を作り、ボロミーニは**無彩色で幾何学的な装飾のみ**を用いて空間を聖化した。



By Architas - Own work, CC BY-SA 4.0,  
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=70004401>

サン・カルロ・アレ・クワトロ・フォンターネ聖堂内部

## ベルニーニとボロミーニ(2)

- ベルニーニは盛期バロックをもっとも顕著に体現した巨匠である。
- 彼ははじめ父を継ぎ彫刻を手掛けていたが、ウルバヌス8世に重用されてその活動を建築に広げることとなった。
- 彼の手掛けた**コルナロ礼拝堂**は、建築・彫刻・絵画を統合した**総合芸術**（**ベル・コンポスト**）の典型である。



aischylos - <https://www.flickr.com/photos/aischylos/235801406/>,  
CC 表示-継承 2.0,  
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=1144216>による

ベルニーニ 《聖テレジアの法悦》  
(コルナロ礼拝堂に設置)

# ベルニーニとボロミーニ(3)

- いっぽう、ボロミーニの建築は**独創性**に秀でていた。
- **サン・カルロ・アレ・クワトロ・フォンターネ聖堂**が彼のライフワークであるが、外壁のファザードは有機的に激しく波打っているのに対し、内部は楕円形を組み合わせたプランによって幾何学的な秩序と静謐さに支配されていた。



By Erin Silversmith - Own work, GFDL,  
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=200585>

サン・カルロ・アレ・クワトロ・フォンターネ聖堂

# 様々な地域のバロック

- ここからイタリア以外の地域におけるバロックについて見ていく。構成は次の通り。
  - ① スペインのバロック
  - ② フランドルのバロック
  - ③ オランダのバロック
  - ④ フランスの古典主義とバロック
  - ⑤ 北イタリアのバロック
  - ⑥ ドイツのバロック

# スペインのバロック(1)

- **スペイン**は早くから絶対王政を確立し、植民地から流入する潤沢な富を背景にして**カトリック改革運動**を推進した。このため、宮廷と教会の双方が積極的に美術を保護し、絵画の黄金時代を招くことになった。
- 16世紀末では厳しい宗教性と現実性を特徴とする**エル・グレコ**などの画家が活躍したが、やはりバロックを代表するのは17世紀の**ベラスケス**である。



ベラスケス 《教皇インノケンティウス10世》

## スペインのバロック(2)

- **ベラスケス**はマドリードの宮廷に仕えた画家である。カラヴァッジョやルーベンスの影響を受けて様式と技法を洗練し、**大まかな筆触により視覚的印象をとらえる**という革新的技法で宮廷の人々の肖像画や現実装いの神話画を描いた。
- 彼の代表作は『**ラス・メニーナス（侍女たち）**』で、モデルの人間性を見事に捉えたこの絵は西洋絵画の頂点を示している。



ベラスケス 《ラス・メニーナス》

## スペインのバロック(3)

- セビーリャ（西スペイン）で活動した**スルバラン**もカラバッジョの画風に強い影響を受け、**独特の素朴で神秘主義的な様式**を確立し、宗教画と静物画を描いた。
- 一方、同じセビーリャの画家**ムリーリョ**は、同時代のフランドル絵画と16世紀のヴェネツィア派の影響を受け、**やわらかい筆触と華麗な色彩**を特徴とする**甘美な宗教画**を制作した。



ムリーリョ 《無原罪の御宿り》

# スペインのバロック(4)



スルバラン 《壺のある静物》



# フランドルのバロック(1)

- 16世紀後半の**フランドル**（南ネーデルラント）は、ハプスブルク家の支配下でカトリック改革を推進し、国際港湾都市アントワープが美術の中心地となった。
- オランダが独立した17世紀以降、その美術活動のほとんどは**ルーベンス**とその一派によって代表される。



ルーベンス 《キリスト昇架》

## フランドルのバロック(2)

- **ルーベンス**はイタリアに渡りルネサンスやバロック画家の影響を受けたあと、最終的にネーデルラントの宮廷画家となった。そして、各国の王侯からの注文をこなす大工房を組織し、旺盛に制作活動を展開した。
- 彼は**自由奔放な構成力**を持って**ダイナミックな構図**を作り上げた。代表作は『**十字架降下**』である。



ルーベンス 《十字架降下》

## フランドルのバロック(3)

- ルーベンスのほか、フランドルで活躍した画家には**ヴァン・ダイク**や**ヨルダーン**がいる。
- 彼らはどちらもルーベンスの弟子である。ヴァン・ダイクはイタリアに渡って宮廷画家となり、**貴族的で華麗な肖像画**を描いたのに対し、ヨルダーンは**農民が登場する風俗画**を得意とした。



ヴァン・ダイク 《狩猟のチャールズ1世》

# フランドルのバロック(4)



ヨルダーンズ 《サテュロスと農夫》

# オランダのバロック(1)

- 1581年に独立を宣言した**オランダ**は、宗教美術を偶像崇拜の対象として否定した**カルヴァン派プロテスタント**が主流を占めた。(c.f.ビルダーシュトゥルム)
- そのため、教会と宮廷という大パトロンこそ失ったものの、海上貿易で財を成した**新興市民階級**が収集することで、膨大な作品が市場に向けて生み出された。



フェルメール 《真珠の耳飾りの少女》

## オランダのバロック(2)

- このため、彼ら市民の思考に応じた肖像画・風俗画・風景画・静物画といった現実的で平易な世俗的ジャンルが流行した。これによりオランダは絵画の黄金時代を迎え、また科学や哲学も発展したため17世紀を「オランダの世紀」と呼ぶことさえある。
- この時代の著名な画家は多いが、特にレンブラントとフェルメールを取り上げる。



ヤーコプ・ファン・ロイスダール 《風車》

## オランダのバロック(3)

- アムステルダム画家**レンブラント**は、『**夜警**』のような大胆な**集団肖像画**を描いた。
- また、彼は個人注文者や自分自身のために**宗教画**も多く描き、当初はカラヴァッジョ風の劇的で激しい構成であった、次第に画面内からにじみ出るような光によって**人間心理を照射する**ような**滋味あふれる**ようなものとなった。



レンブラント 《夜警》

## オランダのバロック(4)

- オランダでは、レンブラントのように広範なジャンルをこなす画家よりも、**専門に特化**した画家の方が一般的であった。
- その典型が**フェルメール**である。彼の風俗画には上品な家庭の静かな室内に一人または少数の人物が表されており、あたかも静物のように静謐な画面を構成している。



フェルメール 《窓辺で手紙を読む女》



# フランスの古典主義とバロック(1)

- **フランス**は17世紀初頭は宗教的・政治的混乱（ユグノー戦争）のために才能のある画家はみなイタリアに旅立ち、カラヴァッジョの様式を学んだ。
- パリでいずれこの様式は衰微していくことになるが、**ジョルジュ・ド・ラ・トゥール**は極めて質の高いカラヴァッジェスキの画面を制作した。



ラ・トゥール 《大工の聖ヨセフ》

## フランスの古典主義とバロック(2)

- 「フランス絵画の父」といわれるニコラ・プッサンはローマでほとんどの生涯を送り、秩序と静穏さに満ちた古典主義を大成した。彼は教養に富み、ローマやフランスの知的エリートのために制作した。
- また、古典的風景画を大成したのはクロード・ロランであった。彼は郊外で盛んに自然を写生し、自然の光と空気を画面に導入した。



プッサン 《パルナッソス》

# フランスの古典主義とバロック(3)



ロラン 《海港（メディチ邸）》

# 北イタリアのバロック(1)

- **北イタリア**では、ローマがバロックの絶頂を迎えた後、各地でバロック様式が浸透していった。
- 海洋国家**ジェノヴァ**には東西南北の文化が流入し、ルーベンスやヴァン・ダイクがやってきて活躍したが、ジェノヴァのライバルである**ヴェネツィア**は次第に没落していった。しかし18世紀には新興貴族の影響により**第二次ヴェネツィア派**が興った。



ティエポロ 《受胎告知》

## 北イタリアのバロック(2)

- このような傾向を継承したのは**ティエポロ**であり、彼はバロッキ的な躍動感とロココ的な優美な装飾性を兼ね備えた絵画を描いた。
- また、トリノにおいてもバロックは普及し、**グアリーノ・グアリーニ**やそれを継承した**フィリッポ・ユヴァーラ**、両者を統合した**ベルナルド・ヴィットーネ**によってローマに替わるバロック建築の最先端の都市となった。

ティエポロ

《カルロス3世治下のスペイン王政の富と利益》



# 北イタリアのバロック(3)



グアリーニ 《サン・ロレンツォ教会（内部）》

By Livioandronico2013 at English Wikipedia, CC BY-SA 4.0,  
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=54032025>

# ドイツのバロック(1)

- 17世紀のドイツは、宗教改革後の混乱と三十年戦争のために目立った芸術はなかったが、カトリックにとどまった**南ドイツやオーストリア**では18世紀になって戦後の復興を謳うようにバロック様式が広まった。

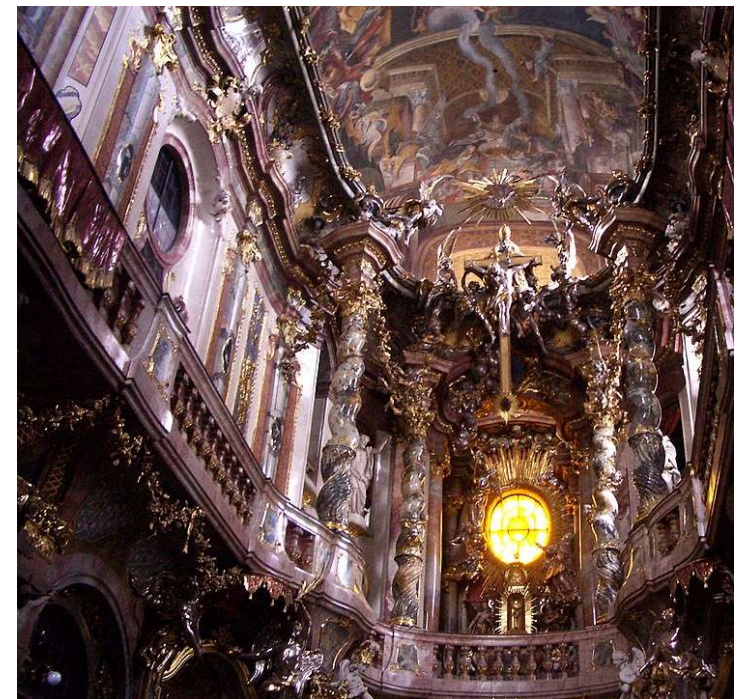


Par Piflaser, CC BY-SA 3.0,  
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=4791441>

アザム兄弟 《聖母被昇天》

## ドイツのバロック(2)

- **アザム兄弟**がドイツ・バロック最大の巨匠である。建築家で画家の兄と、建築家で彫刻家の弟は、南ドイツを中心として共同し多くの**教会の建築と装飾**を手掛けた。
- その代表は**アザム教会**であり、これは彼らが私有する教会であった。



By Photo: Andreas Praefcke - Own work own photograph, CC BY 3.0,  
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=119021>

アザム教会の内装



# 本日の内容

- 美術史：バロック美術
- **美術史：ロココ美術**

# ロココの美術工芸(1)

- **太陽王ルイ14世**が没すると、政治の舞台はヴェルサイユからパリにうつり、貴族や裕福な市民たちはパリに住まいを移した。
- そこでは、前時代の壮大で儀式的な芸術よりも、**軽妙洒脱で自由奔放な美意識**が発達した。
- このルイ15世の時代のフランス美術の様式を**ロココ**と呼ぶ。



ワトー 《シテール島への巡礼》

## ロココの美術工芸(2)

- ロココでは絵画や建築よりも、タペストリー、工芸品、家具、服飾といった**装飾芸術**に顕著である。
- その代表は**ジェルマン・ボフラン**による**オテル・ド・スービーズ**の『**サロン・オヴァル**』である。



[この写真](#)の作成者 不明な作成者は [CC BY](#) のライセンスを許諾されています

ボフラン 《サロン・オヴァル》

## ロココの美術工芸(3)

- 絵画においては**ワトー**が雅宴画を創始した。それはイタリア的な理想主義でもなく、オランダ的な現実主義でもない**演劇的で夢想的なジャンル**であった。
- **ブーシェ**がこの様式を継承し、より華やかで官能的なものとなった。彼の代表作は『**水浴のディアナ**』である。



ブーシェ 《水浴のディアナ》

# 本日のまとめ

- **バロック美術**がイタリアから始まり、ヨーロッパ諸国に広がりました。**カトリック改革**を背景に美術が発展していききましたが、オランダでは市民の影響力が強まり**世俗的な絵画**が多く描かれました。
- 18世紀フランスでは、バロックとは対照的な**軽妙洒脱な様式**である**ロココ美術**が生み出され、華やかな文化が営まれました。



ベラスケス 《教皇インノケンティウス10世》

# 次回の内容

- 次回からは新古典主義・ロマン主義・レアリスム（写実主義）について扱います。フランス革命によってカトリック教会が否定され、**市民社会**が形成される中、この価値観に基づいた世俗的な近代芸術がこの時代に成立することになりました。

## 関連ワード

1. アンゲル『グランド・オダリスク』
2. ゴヤ『マドリード、1808年5月3日』



ゴヤ 《マドリード、1808年5月3日》